

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所属・ 職・氏名	洲本市立洲浜中学校	研究チーム名 (洲浜中学生を考える会)
	職・氏名 養護教諭 小川 周子	

研究テーマ分類番号 (4)

(1) 研究テーマ	
継続できる中学生への生・性教育の模索 ～ ピアカウンセリングの活用 ～	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
5月	本校で実施するピアカウンセリングについて 神戸市看護大学助産学専攻科 健康生活看護学領域ウィメンズヘルス看護学教授と同大学3回生ピアカウンセラーの代表者との間で、電話・メールで意見交換をし、連絡調整をする。
7月	本校のピアカウンセリングの実施を保健だよりにて生徒・保護者・職員に広報。 職員の共通理解を図るために実施要項を配布。
8月10日	ピアカウンセリングの実施 対 象：洲浜中学校3年生 57名 方 法：各クラスにピアカウンセラー4～5名配置、計9名により実施 内 容：(1) じゃんけん列車 (2) 自分の将来について考える (3) デートDV (4) 性感染症について (5) 事後アンケートの実施 成果と課題：自分は自分らしく、周りの人と思いやりながら協力しあって生活していくことの大切さに気づいたようである。 これまで自分のことをゆっくり見つめる時間も持てていなかったから、自分の生活を振り返り、将来について考え、これからの人生で直面する問題に対して、自分にできる解決策を見出していく力をつけたいと感じた生徒が多かったのは成果といえる。 自分以外の回りの人と話す、グループ内で声をかけ合うといったことから活動が始まるのだが、人との関係づくり、コミュニケーションスキルという点からも自己表現の苦手な生徒が多かった。それが 「生きる力」の土台となるので、これらの活動を学校生活において増やしていきたい。 普段接することの少ない年齢に近い大学生の語りかけは親近感が強く、身構えることなく話しやすい存在となったことも含め、ピアカウンセリングの継続を進めたいと教職員間でも再認識できた。
9月 1日	アンケート結果をまとめ、保健だよりを配布
11月14日	講師による講義 対 象：3年生に実施 講 師：洲本市保健センター嘱託助産師（地域では助産院開業） 内 容：生命誕生、性感染症、若年層の人工妊娠中絶について。 出産のしくみ・立ち会い出産のDVD鑑賞。 成果等：実施状況と3年生の感想を保健だよりにて配布した。
12月	教職員間で、中学生の性教育について、道徳、保健学習による基礎知識、ピアカウンセリングと助産師の講義をまとめ、3年生へ継続して取り組んでいけるよう具体的な改善点を検討する。